

(別紙)

障害福祉分野のICT導入モデル事業 事業報告書

自治体名

埼玉県

【基本情報】

フリガナ	シャカイフクホクシ ヲリスケシカイ
法人名	社会福祉法人ありす福祉会
フリガナ	セイシガ ケン
事業所名	聖神学園
提供サービス（複数のサービスを提供している場合は、主たる1つのみ選択）	
施設入所支援	
職員数（常勤換算数）【「全職員の月間勤務時間数」/「常勤職員の月間勤務時間数」にて算出（産休・育休、休職は除く）】	28.7人
ICT機器等導入完了日	令和 5 年 12 月 20 日

※行・列の追加は行わないでください。

(1) モデル事業の実施以前における当該事業所のICT機器等の導入・活用状況

業務内容	ICT機器等の導入・活用状況
支援記録の作成	③ICT機器等を導入している（多くの事務作業が電子化されている）
職員間の情報伝達・情報共有	部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている）
請求業務	③ICT機器等を導入している（多くの事務作業が電子化されている）
勤怠管理	③ICT機器等を導入している（多くの事務作業が電子化されている）
シフト表作成	部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている）
給与業務	部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている）

※「業務内容」に応じ、ICT機器等の導入・活用状況を選択してください。

- ①ICT機器等を導入していない（紙のみで対応）
- ②一部、ICT機器等を導入・活用している（紙とICT機器等に対応）
- ③ICT機器等を導入・活用している（全てICT機器等に対応）

(2) モデル事業実施によるICT機器等の導入状況

ICT機器等の種別	導入目的	製品名	台数	備考
①パソコン	②情報の共有化	ノートPC MSI MODERN15/14	7	
①パソコン	①作業の迅速化	デスクトップPC TSUKUMO RS5A	2	付属品：PCモニター、キーボード、マウス
⑦Wi-Fi・ルーター	②情報の共有化	WSR5400AX/WSR1800AX	2	

※「ICT機器等の種別」については次の中から選択し、その種別ごとに導入目的、製品名、台数等を記載してください。

- ・情報端末等・・・①パソコン、②スマートフォン、③タブレット、④インカム
- ・ソフトウェア・・・⑤記録・情報共有・請求関連業務ソフト、⑥勤怠管理・シフト表作成・人事給与関連業務ソフト
- ・通信環境機器・・・⑦Wi-Fi・ルーター

なお、「⑧その他」を選択した場合には、「備考欄」に、ICT機器等の種別を記載してください。

※「導入目的」については、次の中から特に該当する番号を選択してください。

- ①作業の迅速化（支援記録の作成など）
- ②情報の共有化（職員間の情報伝達・情報共有など）
- ③業務の統合化（請求業務、勤怠管理、シフト表作成、給与業務など）
- ④その他

なお、「④その他」を選択した場合には、「備考欄」に、導入目的を記載してください。

(3) モデル事業を活用して改善を図った業務におけるICT機器等の導入前後の業務時間、作成文書量の状況

① ICT機器等導入前の業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発生件数		C.1件当たりの 平均処理時間	年間業務時間 D (B×C)	1人あたり 業務時間 (D/業務従事者数)	備考
		A.ひと月当たり 発生件数	B.年間発生件数 (A×12)				
①支援記録の作成	30人	300件	3,600件	20分	1,200時間	40時間	
②職員間の情報伝達・情報共有	30人	600件	7,200件	5分	600時間	20時間	
⑦その他	35人	175件	2,100件	15分	525時間	15時間	事業所に提出する申請書・帳票類作成
			0件		0時間	#DIV/0!	
			0件		0時間	#DIV/0!	
		1,075件	12,900件	40分	2,325時間	#DIV/0!	

※「具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。
なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>A.ひと月当たり発生件数の算出方法

①支援記録の作成=利用者の特筆すべき行動記録・報告書 10件×30日
②情報伝達・情報共有=利用者の行動観察・事象の申し送り 20件×30日
⑦その他=申請書・帳票類の作成 35人×5件/月

<※2>C.1件当たりの平均処理時間の算出方法

①支援記録の作成=利用者の特筆すべき行動記録・報告書は、利用者の状況・様子の変化や起きたこと等の事象を詳細に報告書とするため、平均的に20分程度が必要となる
②情報伝達・情報共有=利用者の行動観察・事象の申し送りは、主に利用者の行動観察や排便が中心となり文章量は比較的少なくなるため、平均的に5分程度となる
⑦その他=申請書・帳票類の作成は、利用者との外出届や物品購入など申請一回送するための書類となり、平均的に15分程度となる

② ICT機器等導入後の業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発生件数		C.1件当たりの 平均処理時間	年間業務時間 D (B×C)	1人あたり 業務時間 (D/業務従事者数)	備考
		A.ひと月当たり 発生件数	B.年間発生件数 (A×12)				
①支援記録の作成	30人	300件	3,600件	10分	600時間	20時間	
②職員間の情報伝達・情報共有	30人	600件	7,200件	5分	600時間	20時間	
⑦その他	35人	175件	2,100件	10分	350時間	10時間	
			0件		0時間	#DIV/0!	
			0件		0時間	#DIV/0!	
		1,075件	12,900件	25分	1,550時間	#DIV/0!	

※「具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。
なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>A.ひと月当たり発生件数の算出方法

①支援記録の作成=利用者の特筆すべき行動記録・報告書 10件×30日
②情報伝達・情報共有=利用者の行動観察・事象の申し送り 20件×30日
⑦その他=申請書・帳票類の作成 35人×5件/月

<※2>C.1件当たりの平均処理時間の算出方法

①支援記録の作成 ②情報伝達・情報共有 ⑦その他=申請書・帳票類の作成 の、どの項目においてもパソコンの台数が拡充すること(支援員用6台→今回導入9台+既存6台)およびPCスペック向上により動作が機敏になったことで、記録入力PC空き待ち時間がなくなり、実質の作業時間削減にもつながった。

年間業務時間数削減率 (%)

33.3%

※以下のICT機器等導入前・後の作成文書量は、該当する文書がある場合に記載してください。

③ ICT機器等導入前の作成文書量

作成文書	作成文書量	
	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量 (A×12)
支援記録	150ページ	1,800ページ
申請書・帳票類	105ページ	1,260ページ
		0ページ
	255ページ	3,060ページ

④ ICT機器等導入後の作成文書量

作成文書	作成文書量	
	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量 (A×12)
支援記録	150ページ	1,800ページ
申請書・帳票類	0ページ	0ページ
		0ページ
	150ページ	1,800ページ

年間作成文書量削減率 (%)

41.2%

(4) ICT機器等の導入効果

① 事業所におけるICT機器等導入の推進方法

テクノロジーに強い外部メンバーと業務委託を行い、この施設の現状と将来目指すべき姿のプラン作成を依頼した。特に業務が多様化・複雑化する支援員の工数軽減や、日々シフトで動くメンバー間のリレーションを目的として推し進めることに注力した。また毎年開かれる「CareTEX東京」に行き、テクノロジーやソフトウェアの最新情報を取得し、業務に取り入れるべき内容を選定することを行った。

※事業所において、ICT機器等の導入をどのように進めたか（事業所内の推進体制、外部への相談など）を記載してください。
また、事業所にICT機器等の導入にあたり工夫した点、苦労した点がありましたら、その点も記載してください。

② ICT機器等の導入による業務の変化（複数選択可）

情報端末導入による効果
<input checked="" type="checkbox"/> 1 支援記録の作成に要する時間が減った。
<input type="checkbox"/> 2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。
<input type="checkbox"/> 3 インカム等の導入により、職員間の情報伝達や職員の移動負担が軽減した。
<input type="checkbox"/> 4 利用者の情報を一元管理できるようになった。
<input checked="" type="checkbox"/> 5 その他の効果があった。
<input type="checkbox"/> 6 効果がなかった。

※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。

支援員同士の情報の共有とコミュニケーションの促進ができた

ソフトウェア導入による効果
<input type="checkbox"/> 1 支援記録の作成に要する時間が減った。
<input type="checkbox"/> 2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。
<input type="checkbox"/> 3 利用者の情報を一元管理できるようになった。
<input type="checkbox"/> 4 記録業務、情報共有業務、請求業務を一気通貫で行えるようになった。
<input type="checkbox"/> 5 勤怠管理、シフト表作成等の業務を一気通貫で行えるようになった。
<input type="checkbox"/> 6 その他の効果があった。
<input type="checkbox"/> 7 効果がなかった。

※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。

③ ICT機器等の導入による業務効率化及び職員の業務負担軽減の状況

今までも支援記録などはPCで作業を行っているが、稼働できるPCの台数の制限やスペックの低さが課題であった。今回は新たにPCを導入することができたため、職員の待ち時間が一気に解消されたことと動作の早いスペックとなったため作業時間の軽減にも繋がっている。また別途になったがNASを導入したため、様々な帳票類のファイルを一元管理・共有化が出来るようになり、元データを探す手間を省くこともできたため、情報入力までの時間削減に大きく貢献している。

※ICT機器等の導入により、どのような業務改善ができ、どのような業務効率化が図られたのか、また、職員の業務負担軽減にどのような効果があったのか、具体的に記載してください。

④ ICT機器等の導入による業務効率化で確保できた業務時間の活用方法

利用者に向き合う時間が増えたことが1番大きい。担当する利用者の細かな支援を求めるなか、少しの時間でも利用者に関与するタイミングを創出できたことは、施設運営をする側にとって貢献できたことと考える。また支援員同士のオン・オフ問わずコミュニケーション量が増えたことも、より良い支援に向けての恩恵だと感じる。

※ICT機器等の導入により、業務効率化で確保できた職員の業務時間について、他のどのような業務に活用できたかなど、具体的に記載してください。

(5) ICT機器等の導入による費用面での効果

ICT機器等の導入による費用の縮減	無
-------------------	---

※ICT機器等の導入による費用の縮減が「有」の場合、以下についても回答をお願いします。

縮減額（円）	
職員の賃上げ等への充当	
その他職場環境の改善への充当（※1）	
サービスの質の向上に係る取組への充当（※2）	

（※1）「その他職場環境の改善への充当」の内容について、具体的に記載してください。

（※2）「サービスの質の向上に係る取組への充当」の内容について、具体的に記載してください。